

KYOEI NEWS



〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
URL http://www.kyoeisystem.co.jp

【運送会社の経営情報】 労働時間管理の重要さ

2019年施行予定の「改正労働基準法」のあらましが決まりました。

最大のポイントとなる法定労働時間を超える時間外労働時間の上限は、絶対的規制となり、通常は1ヶ月45時間以内かつ年間は360時間ですが、臨時的な特別の事情がある場合であっても年間720時間以内、1か月の最大時間は100時間未満(休日労働を含む)、2か月から6か月までの何れの月をとっても1か月平均80時間以内(休日労働を含む)となります。また1か月に45時間を超える特例の適用は年6回が限度となります。

運送業においても、事務作業、構内作業従事者には上記規制が適用され、違反行為には今後、罰則が科せられます。

トラック乗務員についても罰則付きの時間外労働規制の適用除外とせず、改正法の施行期日(2019年4月予定)の5年後に年960時間(1か月平均80時間)以内の規制を適用することとし、かつ将来的には一般則の適用を目指すとのことです。

従って、改正法施行後は、特別条項付き36協定の締結、届出が必要となります。

今後においては、乗務員の労働時間管理を従来以上に緻密に行う必要がありますが、この場合現実問題として手作業による労働時間管理は無理となります。

下表は、主として食品配送を行っているA社構内作業員の4月～9月までの残業時間の状況です。

現在の状況では、36協定上も月間最大時間外労働が特別条項付きで90時間の届出がなされていますので問題ありません。しかし、将来的には問題が生じてきます。

(A社時間外労働時間の現状)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
残業時間	90 時間	70 時間	80 時間	85 時間	75 時間	80 時間
原則枠	480時間					

① 6か月の合計残業時間 480時間 ➡ ○

② 1か月の合計残業時間 最大月4月(90時間) ➡ ○

③ 2か月の合計残業時間 6月、7月(165時間＝平均82.5時間) ➡ ×

A社の上記残業時間の例では、6月、7月の労働時間が違法となります。

また、年間720時間の時間外労働の上限については、休日労働は含まれませんが、2か月～6か月の平均時間外労働時間の上限枠については休日労働も含まれます。

上表について言えば、最大月の4月以降の5か月(5月～9月)の時間外労働時間について正確な労働時間管理が求められます。手書きによる労働時間管理では、1か月単位の管理ができて2か月～6か月の各期間の平均時間外労働時間の管理は不可能と言えます。今後の労働時間管理については、デジタルタコグラフ等のITツールでの勤怠管理が不可欠となってきます。



労働政策審議会の報告によると、トラック乗務員についても将来的には一般則の適用(年間720時間)を目指す旨の規定を設けることとし、5年後の施行に向けて荷主を含めた関係者で構成する協議会で労働時間の短縮策を検討するなど、トラック乗務員の長時間労働を是正するための環境整備を強力に推進していくことになっています。

※本内容を無断で転載することを禁じます。